

## 天ヶ瀬ダムに行ってみよう！

宇治の中心部から天ヶ瀬ダムへ向かって宇治川沿いを歩いていくと、左右の山々は急にその幅を狭め、深谷の風景へと変わっていきます。塔の島から約1.5kmのところ木製の天ヶ瀬吊橋があり、さらに約200m進むと天ヶ瀬ダムを正面から眺められる白虹橋に到着します。3月中旬までは、普段は行っていないダムのゲートからの放流を見ることができます。また、春は桜、秋は紅葉と、四季折々の風景を楽しむことができます。天気の良い日には、宇治の自然と天ヶ瀬ダムを訪ねてみませんか？



### 天ヶ瀬ダムを知っていますか？

平等院鳳凰堂や銘茶などの観光資源や名産品があり、世界的な観光地として知られる宇治市。その宇治の中心市街地から宇治川を約3km さかのぼると、大きな翼を広げたような姿の「天ヶ瀬ダム」が目前に現れます。名前は知っていても、その役割を知る人、実際に見たことがある人は意外と少ないのではないのでしょうか。

天ヶ瀬ダムには、①洪水を防ぐ ②電気をつくる ③飲み水を送る、といった3つの目的があります。宇治市を含む下流の市や町を水害から守り、みなさんの家に水や電気を送る、とても大切な役割を持っています。

### 実は“カッコイイ”天ヶ瀬ダム

世の中にダムは数多くありますが、天ヶ瀬ダムは中でも「アーチダム」と呼ばれるダイナミックな形をしたダムです。コンクリート面が大きく湾曲し、横にある山を支えにグッと張り詰って、湖に貯めた水の力に耐えているのです。ダムの北にある天ヶ瀬森林公園から眺めると、優美な曲線を描いていることがよく分かります。また、現場見学会などのイベントの際に堤体の下まで行く機会があれば、頭上に覆い被さるようなダムの迫力に驚くことでしょう。自然の大きな力に耐え、100年以上そこにあつて下流の人々を洪水から守るための工夫が、形となって表れているのです。

## 天ヶ瀬ダムは生誕 50 周年

1953 (昭和 28) 年の台風 13 号による大洪水を契機に、1964 (昭和 39) 年に完成した天ヶ瀬ダムは、今年 50 周年を迎えました。2014 (平成 26) 年 11 月 19 日には、宇治市文化センターにて竣工 50 周年記念式典が開催されました。

### 『天ヶ瀬ダム再開発事業通信』について

次号の「天ヶ瀬ダム再開発事業通信」では、建設されるトンネル式放流設備や架け替えられる白虹橋の概要をお伝えします。また、現場で日々進められている工事の様子をご紹介していく予定です。どのように工事が進められているか、みなさまにもぜひ知っていただきたいと思っております。

発行 |



国土交通省 近畿地方整備局  
琵琶湖河川事務所

〒520-2279

滋賀県大津市黒津 4 丁目 5-1

TEL : 077-546-0844

http://www.biwakokasen.go.jp/



# アマサイツーン

天ヶ瀬ダム再開発事業通信

vol.01  
2015.02

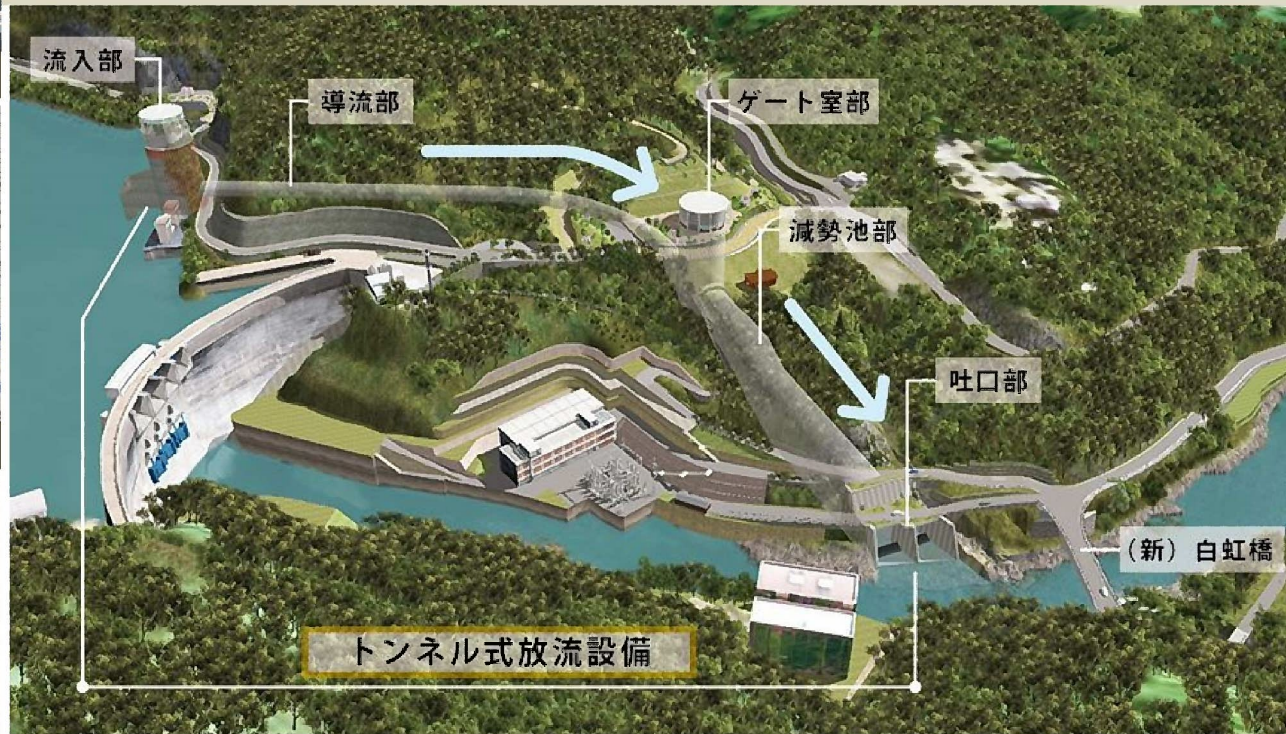
天ヶ瀬ダム再開発事業 進行中！



# 天ヶ瀬ダムが変わります！

天ヶ瀬ダムは、①より大きな洪水を防ぐ ②発電能力を高める ③飲み水を安定的に送る、を目的に、パワーアップ工事を行っています。それは、ダム本体横の山の中に放流用の大きなトンネルを掘り、下流（宇治川）の改修を行ったうえで、ダム湖からの放流能力を高めるといふものです。また、トンネルの出口（吐口部）にあたる白虹橋について架け替え工事も行ないます。詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。 >>> <http://biwakokasen.go.jp/amadam/index.html>

天ヶ瀬ダム再開発事業完成イメージ



■ 流入部 平成 27 年 1 月撮影



■ 導流部 平成 27 年 1 月撮影



■ ゲート室部 平成 27 年 1 月撮影



■ ゲート室部立坑 平成 27 年 1 月撮影



■ 吐口部 平成 27 年 1 月撮影



■ (新) 白虹橋 平成 27 年 1 月撮影

## 『魅せる！現場』やっています！！

近畿地方整備局では、地域の皆様に我々が実施している事業の現場を実際に“目で見て”知って頂くため、一般の方を対象に普段は立ち入りを制限している工事現場等の見学を実施しています。琵琶湖河川事務所でも、水路トンネルとしては『日本最大級のトンネル』を建設する天ヶ瀬ダム再開発事業において、工事現場見学を受け付けています。工事現場で、驚きや新たな発見がきっと見つかると思います。

## ～ 現場見学条件 ～

- ★ 見学場所：京都府宇治市
- ★ 見学は原則平日に行います。
- ★ 見学の1ヶ月前までに事前予約をお願いします。
- ★ 見学のご予約は10名以上の団体で20名様程度までに限らせていただきます。
- ★ 見学は現地集合でお願いします。
- ※ 工事の状況等により、見学日時等はご希望に添えない場合がございます。

## お問合わせ・申込み

- ★ 国土交通省 近畿地方整備局 企画部企画課 企画二係
- ★ 電話：06-6942-1141 F A X：06-6942-7463
- ★ Email：otayori@kkr.mlit.go.jp

※詳しくは、近畿地方整備局HP『魅せる！現場』内をご覧ください。  
<http://www.kkr.mlit.go.jp/plan/genbakengaku/index.html>